



ほくらの
の
ShuShu
Shu @

発行:2021年10月28日

補助:新潟県「消費喚起・需要拡大プロジェクト」応援事業補助金

ほくらのShuShuShu実行委員会

アート × フクシ × 蔵元 × 酒屋

地域は多様性に溢れています。

様々な方の日常がいくつも折り重なって街ができています。

そんな暮らしの中で『食』と『アート』はヒト・モノ・コトをつなげる大切なファクターです。

食を通じて家族や友人と楽しみながら人間関係を育み、アートを通じて自分にはない価値観や多様な世界を知る。

この2つの文化は似ているようで、今まではあまり接点がありませんでした。

この2つが掛け算することによって、また1つ街に誰もが参加・協働しやすい文化活動が生まれるのではと考えています。

地域の様々な方から、将来に亘って少しずつ着実にこのプロジェクトを育ててもらいたいと思います。その中でも『日本酒』と『障害のある方のアート活動』。とても多様な世界だと思いませんか。

多様すぎて、実はお互いにそれぞれがどんな世界か分かっていません。

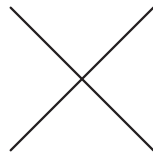
だからこそ面白い。

お互いが知らないから知ろうとするし、プロジェクトを進めていく中で新たな気づきが日々生まれています。

このプロジェクトが近い未来、『まちの文化』のシンボルとして地域で誇れる取り組みになれるよう動き続けます。



佐藤葉月



田中酒造株式会社



自閉症スペクトラム当事者。32歳の時、ハガキサイズのスケッチブックと出会い絵を書き始める。単色で不思議な模様の抽象画を制作。独特なタイトルと作品を見て感じた一言を書いた裏面までが一つの作品。絵もさる事ながら、エッジの効いたタイトルと一言のファンも多数。蚊に刺されやすいO型。最近は多色化しカラフルな色合いになった。

田中酒造は1643年（寛永20年）創業。徳川の時代より続いている酒蔵です。旧国道8号線沿いで、えちごトキめき鉄道谷浜駅前に位置し、前方には日本海が広がり、夏には沢山の海水浴客で賑わう場所です。仕込み水は会社向かい山の横井戸を使用していて、海、山、駅に近い全国でも珍しい酒蔵です。



〒949-1701
新潟県上越市長浜 129-1
TEL : 025-546-2311
FAX : 025-546-2433





馬場悠斗



千代の光酒造株式会社



幼児期から数字に興味を持ち、5歳頃からクレパスで数字を描くようになると紙にとどまらず床でも壁でも構わず描いてしまうほどのめり込んでいきました。数字と色の組み合わせには、1 ブルー、2 グリーン、3 ピンク…と規則性があります。時期によって描き方は変化しますが、ずっと数字を描き続けています。力強いもの、ふんわり優しいもの、飛び跳ねたもの…16色のクレパスをまぜているんな色で表現します。

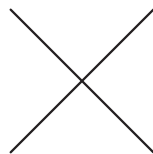
新潟県妙高市で万延元年（1860年）より、お酒を造り続けております。小さな蔵ですが、全製品吟醸酒に準じたきめ細やかな造りです。淡麗さの中にやわらかさを併せ持つ独特の酒質が特徴です。良い原料米を高精白し、丁寧に人手をかけて造っています。麴米は全量ザルで洗米しています。目標とする酒室は、飲み飽きしない食中酒でありながら品格のある酒。

〒944-0061
新潟県妙高市窪松原 656
TEL : 0255-72-2814





石黒 怜子



千代の光酒造株式会社



今回のラベルに使う作品を、怜子さんは『月に座ってみたい、月に乗ってみたい。』とつぶやきながら描いたそうです。作品の原画には『きっとかなわぬ夢ね』と記載がありますが、ご本人さんにお聞きしたら、'きっとかなう夢'と即答。みんなのうたを見てインスパイアを受けたそうです。

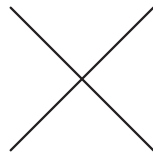
新潟県妙高市で万延元年（1860年）より、お酒を造り続けております。小さな蔵ですが、全製品吟醸酒に準じたきめ細やかな造りです。淡麗さの中にやわらかさを併せ持つ独特の酒質が特徴です。良い原料米を高精白し、丁寧に人手をかけて造っています。麴米は全量ザルで洗米しています。目標とする酒室は、飲み飽きしない食中酒でありながら品格のある酒。

〒944-0061
新潟県妙高市窪松原 656
TEL：0255-72-2814





石塚杏珠



代々菊醸造株式会社



はじめて絵を描いたのは4才のころ。はじめてかいた絵はなぜか"冷蔵庫"。5才になるころ"人"の絵を描きはじめた。現在描く絵は変化をとげ、カラフルな色使いへ。最近では洋服の絵をかいたり、裁縫で人形の洋服を作っては着せて囲まれるように床にならべ、眺めてはうっとりとしています♡そんな杏珠の世界を少しでも感じていただけたらと思います！

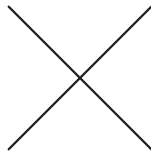
江戸中期よりこの地で酒を造って、当代で18代になります。吟田川の水・米山水系の伏流水でそのおいしさ、柔らかさは日本酒の仕込みには最高の水です。自田で収穫した酒米の五百万石を使い越後杜氏の江村亮一が仕込む淡麗旨口の日本酒です。すっきりしていてキレがあるので悪酔いがなく、酒臭さが口内に残りません。小さな蔵ですが訪ねてくる人とのふれ合いを大切にします。

〒949-3247
新潟県上越市柿崎区角取 597
TEL : 025-536-2469





押山優樹



代々菊醸造株式会社



僕は幼い頃から電車が好きで、電車の中でも日本の車両が大好きです。小学生の頃から鉄道の撮影をすることが好きになりました。今は一眼レフカメラで撮影しています。鉄道だけではなく、景色も撮影しています。僕の撮影した写真を見ながら旅行に行った気分になってもらいたいです。僕の夢は、日本全国の鉄道に乗ることです。全国のジョイフルトレインにも乗りたいです。

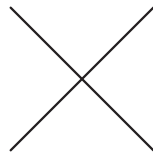
江戸中期よりこの地で酒を造って、当代で18代になります。吟田川の水・米山水系の伏流水でそのおいしさ、柔らかさは日本酒の仕込みには最高の水です。自田で収穫した酒米の五百萬石を使い越後杜氏の江村亮一が仕込む淡麗旨口の日本酒です。すっきりしていてキレがあるので悪酔いがなく、酒臭さが口内に残りません。小さな蔵ですが訪ねてくる人とのふれ合いを大切にします。

〒949-3247
新潟県上越市柿崎区角取 597
TEL : 025-536-2469





長田匠



合資会社竹田酒造店



カラフルで楽しい絵を描くことが好きです。幼少期はカレンダーの裏紙いっぱい魚や恐竜、キノコなどを黙々と描いていました。今は自分がおもしろい、かわいいと感じたものを描いています。絵の具を混ぜ合わせて好きな色を作る。その楽しさを知り、思いのままに描きます。「絵を見てくれた人が笑顔になりますように」

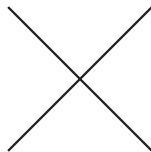
世界の人々に「かたふね」は通用するのだろうか?敢えて店頭に通ずる品質と同様のお酒を出品。結果、純米吟醸は銀賞、特別本醸造はトロフィー(部門トップ)賞。無心が生んだ、会心の出来事でした。翌シーズンの仕込みのテーマは「もっと高みへ」。しかし研究を重ねた渾身の力作に評価が得られず。何が違ったのだろうか…。たどり着いた一つの答え。何をすべきかよりも、どうありたいか。「かたふね」の個性。らしさ。己と向き合うことで、再びトロフィー賞を受賞。晴れ舞台に再び咲いた。今後も「小さな蔵の大きな夢、日本一の酒造り」に邁進してまいります。

〒949-3114
新潟県上越市大潟区
上小船津浜 171
TEL : 025-534-2320
FAX : 025-534-4542

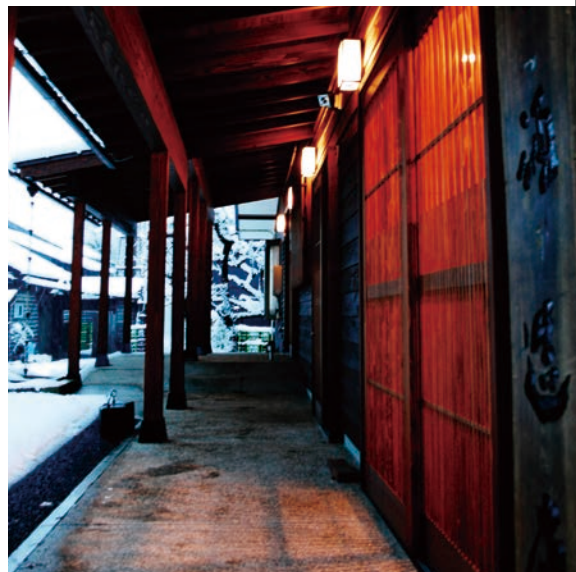




坂井亮円



合資会社竹田酒造店



僕が織物をやる前の10年以上前の30代後半のころの作品を今回は自分を回想する意味で発表したいと思います。僕は写真や絵画に挑戦し、最終的に今は織物をやっています。でもそんな僕の10年以上前のいわば青春を振り返る意味で、今回はこんな絵画の作品を発表したいと思います。つたない作品ですが、どうかご覧ください。

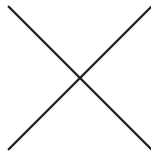
世界の人々に「かたふね」は通用するのだろうか?敢えて店頭に通ずる品質と同様のお酒を出品。結果、純米吟醸は銀賞、特別本醸造はトロフィー(部門トップ)賞。無心が生んだ、会心の出来事でした。翌シーズンの仕込みのテーマは「もっと高みへ」。しかし研究を重ねた渾身の力作に評価が得られず。何が違っていたのだろうか…。たどり着いた一つの答え。何をすべきかよりも、どうありたいか。「かたふね」の個性。らしさ。己と向き合うことで、再びトロフィー賞を受賞。晴れ舞台に再び咲いた。今後も「小さな蔵の大きな夢、日本一の酒造り」に邁進してまいります。

〒949-3114
新潟県上越市大潟区
上小船津浜 171
TEL : 025-534-2320
FAX : 025-534-4542





堀井銀次



株式会社よしかわ杜氏の郷



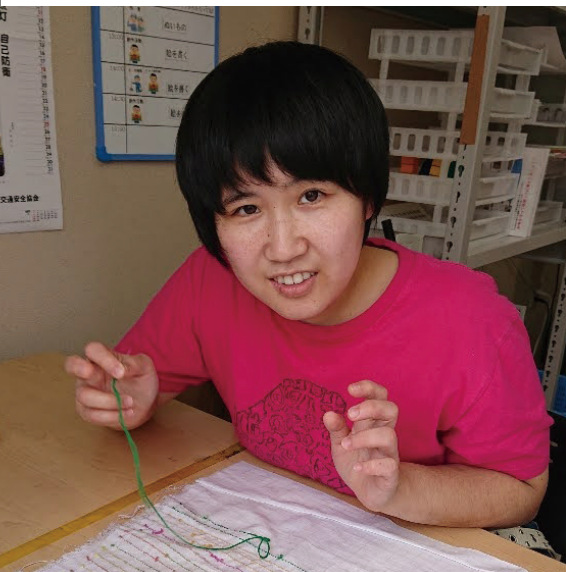
絵を描く活動にあたって特別な指導は受けておらず、紙・画材を自ら選び制作に打ち込んでいる。サインペンを好んで使い、細部まできちんと塗りつぶす作業は丁寧に時間をかけて行っている。絵を描く際は、下書きなど一切せず直線も定規など使わずに描いていく。彼独特の色彩感覚はとても色鮮やかで多くの人の目を楽しませている。

「米・水・技」に特化した本当の地酒をお届け致します。よしかわは「杜氏の隠れ里」大勢の杜氏を輩出する伝統の酒造りの技と新潟県下有数の酒米の産地で美味しい米、そして尾神岳のブナ林からの湧水で本当の地酒を造っています。また、「杜氏のふるさと」として知られています。又県立高校で酒造りを教えたところは日本で1校、新潟県立吉川高校醸造学科が有りました。

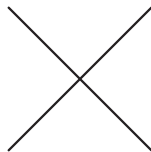


〒949-3449
新潟県上越市吉川区
杜氏の郷1番地
TEL : 025-548-2331





西須奈津子



鮎正宗酒造株式会社



動物を描く事が多くある彼女だが、最近特に力を入れて描いているのが「猫」である。写真などから自分のイメージに合うものをじっくり探し、描き始めるが、一つとも写真を写すものはない。写真からさらなる想像を膨らまし自分の世界にと変えている。その絵は、とても愛嬌のあるしぐさなどの確にとらえクスッと笑ってしまうものが多い。

深い緑に包まれた山あいの里・猿橋の地に当酒蔵があります。創業は、明治8年(1875年)。初代が枯渴することを知らない良質の湧き水で酒を醸したことが始まりです。酒の原料となる湧き水は、今も蔵の下からこんこんと音を立て湧き出ており、毎時6トンの水量を誇ります。蔵元に寄り添う山の地下深くより自然に湧き上がる伏流水です。大自然に育まれた湧き水が生み出す酒は、やわらかな口当たり…雪と水に恵まれた清らかな山峡で、蔵人が心を込めて酒造りに取り組んでいます。

〒944-0341
新潟県妙高市大字猿橋 636
TEL : 0255-75-2231
FAX : 0255-75-2328





服部隆司



鮎正宗酒造株式会社



普段はポプラの家で、金属部品の組み立てや検査、公共施設のトイレ清掃などに取り組んでいます。真面目で、いつも丁寧なお仕事をしています。心優しく、力仕事や、人が嫌がるような仕事も進んでくれます。仕事の空き時間等に絵を描いていますが、服部さんが生み出す独特の形と色遣いが素敵です。本人談「ニコニコ笑顔や太陽・ロボット・車・細かい形の地図を、きれいになるようにいろいろな色で描きました。絵を描くことはとても楽しいです。」

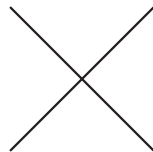
深い緑に包まれた山あいの里・猿橋の地に当酒蔵があります。創業は、明治8年(1875年)。初代が枯渴することを知らない良質の湧き水で酒を醸したことが始まりです。酒の原料となる湧き水は、今も蔵の下からこんこんと音を立て湧き出ており、毎時6トンの水量を誇ります。蔵元に寄り添う山の地下深くより自然に湧き上がる伏流水です。大自然に育まれた湧き水が生み出す酒は、やわらかな口当たり…雪と水に恵まれた清らかな山峡で、蔵人が心を込めて酒造りに取り組んでいます。

〒944-0341
新潟県妙高市大字猿橋 636
TEL : 0255-75-2231
FAX : 0255-75-2328





情報資格試験



株式会社武蔵野酒造



描き、創り、あらわし、生きる。多数の資格を持って満たせないまま それでもまだ資格を求め、表現を求め生き方を探る、ヘルプマークを持った表現者。尽きぬ承認欲求と内側に起こる衝撃と衝動…一方で、他者との関わり合いにおいて自分の感情を抑えすぎることにより、内側で怒りや激情爆発を起こし、苦しみと葛藤とを繰り返す。異端者は苦闘の中で表現としてあふれこぼす、自分の生きる世界を今日もまた。

地域の恵みの米・水に拘り酒を醸しています。決して辛すぎず、飲み飽きしない酒造り越後杜氏による伝統的な酒造りに徹し、雪深い高田の地で地元の米、水を大切に酒造りを行っています。多雪地帯で知られる新潟県上越市。山間部にはさらに多くの雪が積もります。雪の恵みによる清冽な天然水、上質な米、越後杜氏の技術。天の恵み、地の恵みそこに伝統ある越後杜氏の人の恵みが加わり上質の酒を皆様にお届けしています。

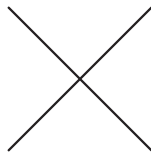


〒943-0834
新潟県上越市西城町 4-7-46
TEL : 025-523-2169
FAX : 025-524-3041





泉
カ
ン
イ
チ



頸
城
酒
造
株
式
会
社



画家。パンクロック、ストリートブランドが大好きで、描かれる絵画にもその特徴が色濃く表れている。即興で描くその姿はまさしくパンクである。写実的なものからデフォルメしたものまで様々な作風で絵画を描き、画材もスプレーなど多彩なものを使用する。アートへの探究心は益々強くなっている。一方、人と接する時はとても礼儀正しく優しい口調で話す。つながりをとても大事にしている、最近は、出会った方の似顔絵を描いている。

故郷柿崎の水、米、そして地域に受け継がれてきた酒造りの技を大切に「柿崎地酒」造りにこだわります。また味わいは、食事の中で活きる感動の食中酒を目指しより旨い酒造りに励んでおります。



〒949-3216
新潟県上越市柿崎区
柿崎 5765 番地
TEL : 025-536-2329
FAX : 025-536-3756



酒屋紹介

ShuShuShu の

お酒を販売します。

#shushushusakaya

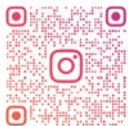
ぼくらのShuShuShu

上越妙高地域の8酒蔵と

ぼくらのアールブリュット

12作家によるアートラベルコラボ

“ぼくたちのワクワクが動き出す”



BOKURANOSHUSHU



やまぎし酒店

新潟県妙高市諏訪町1-3-13

0255-72-2126

<http://www.facebook.com/Yamagishisaketenn>

<https://www.instagram.com/yamagishisaketenn>



地酒の店かじや

新潟県上越市三和区下中1502

0120-270-245

<https://kajiyonet.com>

<https://www.facebook.com/kajiya.sake>



ほていや酒店

新潟県上越市西城町2-2-17

025-524-3837

<https://www.facebook.com/hoteiyasaketen/>

<https://www.instagram.com/hoteiya.sake/>



横川酒店

新潟県上越市春日新田1丁目20-2

025-543-2609

酒の店いしかわ

新潟県上越市南本町三丁目3-15

025-523-2488

有松井酒舗

新潟県上越市南本町1丁目4-16

025-523-2841

<https://syuho-matsui.com/>

<https://www.facebook.com/matsuisyuhou>



八木酒舗

新潟県上越市北本町2-6-13

025-523-2643

<http://www.yagishuho.com/>



新潟の酒と米 まいどや

新潟県上越市春日新田1丁目13-16

025-543-6727

<http://www.maidoyasaketen.com>

https://www.instagram.com/maidoya_niigata/



増井酒店

新潟県上越市西本町3-8-8 エルマール1階

025-543-2744

<https://masuisaketen.com>



三上酒店

新潟県上越市東城町3-9-3

025-523-4369

<http://mikami-saketen.com/>

<https://www.facebook.com/mikami.saketen>

https://www.instagram.com/mikami_saketen/



立原酒店

新潟県上越市栄町3-2

025-523-2716

<https://shop.tachiharasaketen.com>



酒のおおやま

新潟県上越市大町4-4-7

025-522-5210

<https://www.facebook.com/sakeooyama>



十二屋

新潟県妙高市関山1668-13

0255-82-3128

<https://www.instagram.com/jyuuniyamayoko/>

<https://www.facebook.com/jyuuniyamayoko>

<https://twitter.com/jyuuniyamayoko>



無印良品 直江津 ※2021年11月19日-23日の間

新潟県上越市西本町3-8-8 直江津ショッピングセンター2階

025-520-7591

<https://www.muji.com/jp/ja/shop/detail/046607>

